

開設講座名	【選択】子ども達の未来を考える ～地球環境と未来へのかかわり～	担当講師	今村 主税		
講習会場	山口県立大学（南キャンパス） D館 D24 教室	会場所在地	山口市桜島 3-2-1		
開設日	平成 30 年 8 月 20 日（月）	時間数	6 時間	受講定員	40 人
募集期間	平成 30 年 5 月 20 日～6 月 3 日	履修認定 時期	平成 30 年 9 月 30 日まで		
履修認定 対象職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な 受講対象者	全教員		
受講料等総額	6,000 円	うち受講料 以外の経費	0 円		
<p>【到達目標】</p> <p>本講習は、地球環境問題について広い視野から理解すると共に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向けて自ら考え行動できること</li> <li>・建設的な議論をすることができること</li> <li>・その理解と改善のための取組を学校現場の状況に応じて伝え、実践活動につなげることができることを目標とする。</li> </ul>					
<p>【講習の概要】</p> <p>地球温暖化・気候変動を中心テーマとしてグループ討議を交えながら、以下の講習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人類と地球環境とのかかわり <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会とは？ ・持続可能な開発目標（SDGs） ・生態系サービス ・地球環境問題とは何か？</li> </ul> </li> <li>2 地球温暖化・気候変動の現状（IPCC 第 5 次評価報告書を中心に） <ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化で何が起こるか？ ・世界、日本の状況</li> </ul> </li> <li>3 食と環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの食生活と環境とのかかわり（消費者の社会的責任） ・環境問題の解決に向けて</li> </ul> </li> <li>4 解決策を導くために <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ</li> </ul> </li> <li>5 まとめ</li> </ol>					
<p>【評価の方法・評価基準】</p> <p>評価の方法：筆記試験</p> <p>評価基準：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）地球環境問題とその対策の現状を広い視野から理解する。</li> <li>（2）未来に向けて人類がとるべき行動について議論することができる。</li> <li>（3）授業への反映についてイメージし、自らの目標を持つことができる。</li> </ol>					
<p>【テキスト・参考資料】</p> <p>テキストのプリントは当日配布致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・生物多様性・循環型社会白書（<a href="http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/">http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/</a>）</li> <li>・国連広報センター（<a href="http://www.unic.or.jp/">http://www.unic.or.jp/</a>）</li> <li>・全国地球温暖化防止活動推進センター（<a href="http://www.jccca.org/">http://www.jccca.org/</a>）</li> <li>・IPCC 第 5 次評価報告書</li> </ul>					
<p>【受講者への伝達事項】</p> <p>現在の地球環境問題は多様な主体が複雑に関係し、単純に解決することが困難な状況になっています。ミクロな部分を見ながら、俯瞰的な視点でも問題を捉え、解決策を考えていかなければなりません。現時点では地球環境問題を解決するための答えは簡単に導き出すことはできませんが、解決するための糸口を見つけられるよう努め、次世代に伝えていくのが、現在を生きる者の責務です。この講習を通して、持続可能な社会を次世代の子ども達へ伝えるための一助となればと考えています。</p>					